

(初刷誤植)

頁・行

一四・一四

(誤) に律学を学んでいる。

八三・一三

昔(南宋の)蘇東坡が、

一〇〇・六

を開山とする、

一一二・三

拙這瞎漢 拙、この瞎漢。

一一五・一五

この茶道具運びめが。こらつ。

一八七・一

分明に究しめんがため、却りて

一八八・一〇

性は海水にして澄み、

一三

(誤) 本来の靈光当現前 本来の靈光、まさに現前たるべし

(正) 本有の靈光当現前 本有の靈光、まさに現前たるべし

二〇三・一四

何物かの好事、謾りに描出せん。

何物か好事、謾りに描出す。

一五

天下に一任して人粲然たり。

一に天下の人の粲然たるに任す。

二〇四・五

描写して、何の好事があるうか。

描写するのはどの物好きか。

六

天下の笑い者になるほかはなさそうだ。

天下の笑い者にしてほしい。

八

高遊外自顕す。

高遊外自題す。

九

高遊外自顕す」とある。

高遊外自題す」とある。

二二五・一七

難点如期

難點如斯

二二六・一四

(誤) 言いたかったことを丁寧にしたつもりですが、おわかりづらいところがあるかもしれません。

(正) さてさて大儀なことでしたが、丁寧に送っていただいたので、黙っていることができなくなりました。

一八

請取申候為、其如

請取申候為其如

二二八(引用・訳)

以下、傍線部が訂正箇所

野拙賤像大用望ニ而、題語申候由、御聞伝。其通御望之由、被仰聞。右題申候数語ハ六七年已前作申候へ共、訣而用不申捨置候。此事大用存被申候故、所望被致文句少々作替去年書申候。去秋已来別而老衰仕候へハ、元来之不才二候へハ作之儀難叶、

拙筆之儀候へハ、書損或落字^ナ有之候故、書キ直シ之不成物ハ一向書不申候。近比像贊頼来申候へ共、即指返申候。此儀者不相叶事候故、違来命申候。先達而モ被仰聞候、求来梅弥盛申候由、此節者花正開御座候半ト存申候。実ハ少キ物ニ御座候間成留リ可申候哉ト存候。一入之御楽ト奉存候。已上。老筆不埒之儀、御免可被成候。

(訳) 大用が私の賤像に賛語を記入することを望んでいるとのことですが、あなたの希望通りに記入する予定だと伝えて下さい。六、七年も前に書いた詩偈を賛語として使ったものですが、決してそれを使うと申さずに捨ておいたのです。その時の経緯を大用はよく知っていますが、去年に語句を少々変えて、望まれた賛を作りました。去年の秋から老衰が進み、それに元来の不才に加えて、このような仕事が出来ないのです。拙筆のことですから、書き損じ、あるいは落字などが起こります。ですから、このように書き直しができないものは一向に書けません。この頃、私に画像を送って賛をするように頼まれるのですが、そうして送られてくる画像をすぐに送り返します。こうした仕事は叶いませんのでご了承下さい。せんだつておっしゃっていた、楽しみにされている梅がますます盛んに成長しているとのことですが、今頃はその梅の花も満開になつていゝことでしょう。

二二〇・九

ますま下手に

ますます下手に

(2刷誤植)

頁・行

一八六・一三

(誤) 法兄大用

二三四・年表 29 歳

兄弟子の大潮元皓

二三五・年表 70 歳

学僧大用・無住

(正)

法弟大用

兄弟子の大潮元皓

僧大用・無住